



今月は
不知火町長崎のむかし話

大智禪師と饅頭

後世に残そう。地域に伝わる。おとぎ話の世界。

鎌倉時代、長崎村に生誕。幼名を萬仲といい、7歳で大慈禪寺(熊本市南区)の寒巖禪師の門に入りました。対面した寒巖が萬仲に問います。「名は何と。」萬仲と申します。「いくつになるか。」七つでございます。出された饅頭を食べる萬仲に「萬仲が饅頭を食う、どんな気持ちか。」すると、「大蛇が小蛇をのむ気持ちでございます。」と答えました。感心した寒巖がさらに緑川を指さし「舟を止めてみせよ。」と言うと、萬仲は障子を閉め、寒巖が「座ったままやってみせよ。」と言えば、目を瞑ってみせました。寒巖が「小智慧がある。入門したら小智と名乗れ。」と言うと、「いやです。小智では悟れませぬ。」と答える萬仲。寒巖は笑い、大智と名付けたとさ。

イラスト／村上明日香
(不知火美術館 学芸員)



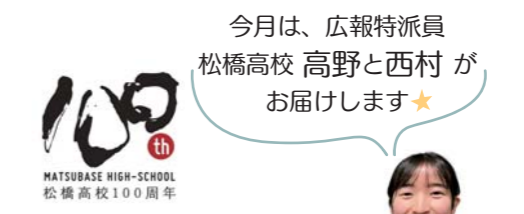
世界で起こった戦争をスライドで解説



中川 大輔さん
-1年-

身近な歴史を知ろうプロジェクト

私は、過去の悲惨な戦争を調査して多くの人に広めることで、戦争を繰り返さない・させない社会を目指すプロジェクトを行っています。現在は、松橋空襲を調査中。分かりやすい資料を作成・公開する準備をしています。また、このプロジェクトが人に与える影響を調査する予定です。



今月は、広報特派員
松橋高校 高野と西村が
お届けします★

松橋高校は、大正7年創設の歴史ある学校。普通科文理総合コース、普通科体育コース、家政科、情報処理科があり、特色ある教育を行っています。



高野 聖来さん
-3年-

普通科では、生徒の興味・関心に基づいたプロジェクトを個人やグループで行っています★



総合的な探究の時間を使って進めている中川君の活動を紹介します

西村 璃湖さん
-3年-

見た！聞いた！
地域の魅力再発見！

広報特派員や地域おこし協力隊が市内で起きた出来事を伝えます。

空き家対策 おうちくん・バンクくん・わたしの

まちがいさがし

Instagram 始めたよ 24ページ必見

空き家バンク

おうちくん

バンクくん

わたし

2月3日

2月8日

7つのまちがいをみつけてね。答えは29ページ。

市民投票

バレンタインデー

あなたはどっち？

手作り派 61票 20%

既製品派 250票 80%

ちなみに 選ばない! 67票

PICK UP

山田家 -松橋町- 柚葉さん 9歳

美佐さん 30歳

り桜さん 0歳

次号の対決

休みの日、あなたはどっち? 「アウトドア派 / インドア派」 回答は市公式LINEやメール、お便りです。

回答期限 2/10

市公式 LINE

空に舞う伝統

正方形の和紙に2本の細い竹材を交差させ、中心に1本のたこ糸を取り付ける小川凧。その歴史は古く、江戸時代から親しまれてきた。

地域の伝統を守ろうと、保育園や小・中学校へ出向き、凧作り教室を開くなどの伝承活動を行っているのは小川凧保存会。会員は皆、時間を惜しまず、そ

の活動は16年にも及ぶ。大きさが約4畳半分もある大凧も制作し、凧揚げ大会などでは、空に舞う姿が披露される。

会長の吉田忠生さんは「コロナ禍で例年2月に開いていた凧揚げ大会は中止しましたが、小川凧を通じて人の輪を広げたい。そして郷土愛を育んでいきたいですね。」と目を輝かせる。

会員たちの目標は、空高く舞う小川凧のように勇壮だ。



小川凧保存会

小川町 吉田忠生会長 会員28人が小川凧の保存継承を図っている

1 衝撃に耐えられるよう竹を割り、接着剤を付けて留める 2 鮮やかに色付け 3 熊本や地域にまつわる絵柄に

手しごとさんぽ

ものづくりをする手から生まれる作品は暮らしを心豊かに彩る。そんな命を吹き込む手仕事を紹介します。